

# 令和2年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
聴覚障害 I (聴覚の基礎と聴覚検査)		講義	中西 千代美	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人は他者の話を聞き、応答することでコミュニケーションを取っている。聴覚に障害があると日常会話ばかりでなく、言語獲得に影響を受け、コミュニケーション障害を引き起こす大きな原因となる。聴覚の成り立ちや、聴覚器官(外耳～内耳)の仕組みの理解はその基礎をなすものである。その上で、聴こえを測定するとはどのようなことかを、代表的検査である純音聴力検査法をとおして学習する。				
授業の到達目標				
聴覚に関する基礎的な知識、聴覚の成り立ち、聴覚器官の仕組みが理解できることを目指す。純音聴力検査の実施方法を理解し、実際にオーディオメーターに触れ検査を行う。				
授業計画				
回	内容			
1	イントロダクション、聴覚の成り立ち			
2	外耳、中耳の構造と機能			
3	中耳、内耳の構造と機能			
4	中耳、内耳の構造と機能			
5	内耳、後迷路の構造と機能			
6	伝音難聴と代表的疾患、関連する諸検査			
7	伝音難聴と代表的疾患、関連する諸検査			
8	伝音難聴と代表的疾患、関連する諸検査			
9	感音難聴と代表的疾患、関連する諸検査			
10	感音難聴と代表的疾患、関連する諸検査			
11	マスキング			
12	オーディオメーターの機能、操作方法			
13	オーディオメーターを使用し純音聴力測定 (気導)			
14	オーディオメーターを使用し純音聴力測定 (骨導)			
15	オーディオメーターを使用し純音聴力測定			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
聴覚検査の実際 改訂4版	日本聴覚医学会 編	南山堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				